

全国中学生人権作文コンテスト受賞作品

平成21年度全国中学生人権作文コンテスト熊本大会（法務局主催）で、波野中学校3年の岩下明日美さんが、多くの作品の中から、「見事「奨励賞」に輝きましたのでご紹介いたします

あいさつはありがとうの言葉

波野中学校 三年 岩下明日美

私の住んでいる波野は、とてもよいところだと思います。近所の方とも、仲がよいです。そのため、あいさつをすると、必ず返事が返ってきます。私は自転車通学をしています。たまにあいさつが雑になってしまいます。相手の方はきちんと顔を見て、笑顔で返してください。また、よく知っている近所の方は、あいさつのあとに、「部活、お疲れさま。」と、声をかけてください。私は、人と話すのがあまり得意ではありませんが、声をかけられるとうれしいです。また、近所の方だけではなく、道路工事をする方や、観光で来られた方々にも、あいさつをすると返してください。二年生までは、知らない人だからと、あいさつもせずに通り過ぎることが多かったです。しかし、波野のためにがんばっておられる方や、波野の自然を楽しまれている方々に、あいさつもせずに通り過ぎるのは失礼だと思います。三年生になってからは、必ずあいさつをするようにしました。

「あいさつ」は、「ありがとう」と同じだと思います。近所の方には、いつも見守ってくださりありがとうございます

います。工事をされている方々には、私たちのために道を作っていたいただきありがとうございます。観光にいらっしゃった方々には、波野に来ていただきありがとうございます。と、気持ちをこめてあいさつすることが大事だと思います。

今は、隣の家なのに、話したことがないというところが多いそうです。私には想像もできませんが、それは失礼だし、悲しいことだと思います。けれども、学校であいさつは大切だと習ってきたと思います。社会に出て役立つから習うのに、社会に出てからしなくなるのは、おかしいと思います。

一学期に道徳の授業で、「あいさつは潤滑油だ」と、習いました。「おはよう」「こんばんは」と一声かけるだけで、お互いの気持ちを優しくしていく、という内容でした。私は、「なるほど」と思いました。人と付き合う中で、必ずあいさつをしたいと思います。あいさつは、相手との距離を縮めてくれます。だから、人付き合いの苦手な人は、あいさつをしてみるとよいと思います。波野中学校では、毎朝地域の方々に向けてあいさつ運動をしています。そのおかげで、いじめがないのだと思います。

私はあいさつをしてけると、うれしくなります。返してくれないと、自分を否定されているようで悲しいです。



熊本地方法務局阿蘇支局長井尾毅氏より表彰状を伝達される岩下さん

人にあるあいさつをするだけで、きつと勇気が出ると思います。そうすれば、自分の気持ちを相手に伝え、いじめをなくせるかもしれません。

しかし、わたしもお店で知っている人に会ったとき、たまにあいさつをしないことがあります。そのあと、「なんで、あいさつできなかつたのだろう?」と、情けない気持ちになります。だから、今年、どこに行ってもきちんとあいさつをできるようにするのが目標です。わたし以外でも、あいさつができない人がいると思います。そういう人にあいさつは「ありがとう」と一緒に、ということを伝えたいです。そうすればきつと、あいさつをする人が増えると思います。すべての人があいさつをするようになれば、いじめなどもなくなると思います。

私は、これからもあいさつを続けていきます。そして、目標を達成させるために、今よりもっとがんばっていきましょう。

おりた鍼灸院

TEL 32-1589 (予約制) 阿蘇市内牧(成川)

はり・温灸針・小児針

阿蘇市交付の施設利用券を取り扱っております

肩・腰・膝の痛み、その他慢性病等お気軽にご相談下さい。